

河内長野市新学校給食センター整備運営事業

審査講評

令和6年10月

河内長野市新学校給食センター
整備運営事業者選定審査会

— 目 次 —

1. 審査体制.....	1
2. 選定審査会の開催経過	1
3. 審査結果.....	1
3.1. 参加資格審査（第一次審査）	1
3.2. 提案内容審査（第二次審査）	2
3.3. 審査講評	4
3.4. 総評.....	5

1. 審査体制

河内長野市（以下「市」という。）は、提案内容の審査に関して、幅広い専門的見地からの意見を参考とするために、学識経験者等により構成される「河内長野市新学校給食センター整備運営事業者選定審査会」（以下「選定審査会」という。）を設置した。

選定審査会の構成は、次に示すとおりである。

【選定審査会の委員】

会長	北詰 恵一	関西大学環境都市工学部都市システム工学科 教授
副会長	鳥巢 茂樹	武庫川女子大学建築学部建築学科 教授
委員	西村 智子	梅花女子大学食文化学部管理栄養学科 教授
〃	早川 和志	河内長野市総合政策部 部長
〃	島田 俊彦	河内長野市総務部 部長
〃	尾西 健一	河内長野市教育委員会事務局教育推進部 部長

※人事異動に伴い、第2回選定審査会にて宮阪晴久委員が退任、第3回選定審査会より島田俊彦委員が就任した。

2. 選定審査会の開催経過

選定審査会は計4回開催した。開催日と主な議題は次に示すとおりである。

【選定審査会の開催日及び審議等の事項】

選定審査会	開催日	主な議題
第1回	令和5年11月14日	事業者選定基準の作成方針の審議 （事業者選定方式・採点方法・審議方法について）
第2回	令和6年3月26日	事業者選定基準案の審議 （評価項目の設定、評価項目の配点について）
第3回	令和6年7月12日	最優秀提案者選定の進め方の審議 （事業者の審査に係る委員・事務局間の提示資料や作業工程、第4回選定審査会進行の時間割について）
第4回	令和6年9月12日	提案書に関するヒアリング（プレゼンテーションを含む） 提案内容に関する意見交換及び最終採点 評価値の算定及び最優秀提案者の選定

3. 審査結果

3.1. 参加資格審査（第一次審査）

下記の2グループから参加資格審査書類の提出があり、市はプロポーザル参加者が備えるべき参加資格要件（募集要項に規定されている要件）を満たしていることを確認し、選定審査会は報告を受け、承認した。

グループ名
シダックス大新東ヒューマンサービスグループ
東洋食品グループ

3.2. 提案内容審査（第二次審査）

(1) 見積書及び提案書の確認

下記グループから見積書及び提案書が提出され、市が必要書類に不備がないことを確認し、選定審査会は報告を受け、承認した。

なお、加点項目審査における評価の際は、参加グループ名、企業名等を伏せ、参加受付後に配布した受付番号により、全ての審査を行った。

グループ名	受付番号	構成員	
シダックス 大新東 ヒューマン サービス グループ	1	運営企業	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社 近畿支店（代表企業）
		設計・工事監理企業	株式会社阿波設計事務所
		建設企業	徳倉建設株式会社 大阪支店
		維持管理企業	株式会社アール・エス・シー
		維持管理企業	総合警備保障株式会社
		その他企業	株式会社トーエネック 大阪本部営業部
		その他企業	株式会社アイホー 大阪支店
		その他企業	三菱電機フィナンシャルソリューションズ 株式会社 関西支店
東洋食品 グループ	2	運営企業	株式会社東洋食品（代表企業）
		設計・工事監理企業	株式会社相和技術研究所 大阪事務所
		建設企業	株式会社フジタ 大阪支店
		建設企業	株式会社木谷工務店
		維持管理企業	伊藤忠アーバンコミュニティ株式会社
		維持管理企業	株式会社中西製作所 大阪支店

(2) 見積価格の適格審査

見積書に記載された見積価格が提案上限額を超えていないことを市が確認し、選定審査会は報告を受け、承認した。

(3) 必須項目審査

上記グループから提出のあった提案書の内容が、市が必須とする項目（必須項目）を充足しているかを市が確認し、選定審査会は報告を受け、承認した。

(4) 加点項目審査

上記グループの提案内容のうち、市が特に重視し、かつ選定審査会が審査した項目（加点項目）に関して、その提案が優れていると認められるものについては、その程度に応じて、次頁に示す判断基準により選定審査会が評価点を付与した。

評価内容		採点レート
A	要求水準書の記載を超える提案がなされており、その内容が特に優れている提案内容	当該項目の配点×100%
B	AとCの中間の提案内容	当該項目の配点×80%
C	要求水準書の記載を超える提案がなされており、その内容が優れている提案内容	当該項目の配点×60%
D	CとEの中間の提案内容	当該項目の配点×30%
E	要求水準書の記載を超えない提案内容	当該項目の配点×0%

加点項目審査の結果は、以下のとおりである。

評価項目		配点	1 グループ	2 グループ
a) 事業計画に関する提案	①事業実施方針、実施体制	50	36.67	36.67
	②リスク管理の方針	40	29.33	29.33
b) 設計・建設に関する提案	①配置計画・外部動線	50	35.00	36.67
	②内部計画	50	33.33	33.33
	③施工計画	40	26.67	26.67
	④地球環境・ライフサイクルコストへの配慮	40	32.00	26.67
c) 開業準備に関する提案	①円滑な供用開始に配慮した開業準備	30	21.00	23.00
d) 維持管理に関する提案	①修繕計画	30	19.00	19.00
	②地球環境負荷の低減への配慮 (運營業務からの観点を含む)	50	35.00	35.00
e) 運営に関する提案	①質の高い給食の安定的な提供	50	30.00	35.00
	②安全衛生	50	33.33	35.00
	③食物アレルギー対応	40	26.67	26.67
	④配送・回収	40	26.67	28.00
	⑤従業員の労働環境	30	19.00	21.00
	⑥食育支援	30	22.00	22.00
	⑦周辺環境への配慮	30	20.00	21.00
f) その他に関する提案	①地域への貢献	20	13.33	12.67
	②市内企業への発注	10	0.86	10.00
	③付帯事業	20	16.00	14.00
g) 価格に関する提案	①市の財政支出の削減※	300	296.96	300.00
評価点計		1,000	772.82	791.67

※見積価格を対象として、以下に示す方法に基づき評価点を付与した。

評価点 = 300 点 × (最低見積価格／当該見積価格)

項目	1 グループ	2 グループ
見積価格	8,852,291,960 円	8,762,564,305 円
評価点	296.96	300.00

(5) 総合評価点の算定

選定審査会は、次表のとおり総合評価点を算定し、東洋食品グループ（２グループ）を最優秀提案者として選定した。

項目	シダックス大新東ヒューマンサービスグループ（１グループ）	東洋食品グループ（２グループ）
総合評価点	772.82	791.67
順位	2	1

3.3. 審査講評

(1) 事業計画に関する提案

<シダックス大新東ヒューマンサービスグループ>

- ・周辺環境や地球環境への配慮、施設の長寿命化等、持続可能で効率的な給食運営の実現に向けた事業実施方針が示されている。
- ・施設整備業務責任者が運営・維持管理協議会に参加するなど、維持管理・運営期間中の設計・建設企業の協力について具体的な提案がなされている。
- ・建設業務の遅延リスクへの対策が具体的に示されている。

<東洋食品グループ>

- ・市の本事業の基本理念に対するグループの取組方針やその内容が具体的に分かりやすく示されている。
- ・構成企業の豊富な実績に裏付けられた実施体制構築の提案がなされている。
- ・各業務にバックアップサービサーを設置するなど、バックアップ体制の構築についての具体的な提案がなされている。

(2) 設計・建設に関する提案

<シダックス大新東ヒューマンサービスグループ>

- ・騒音・振動や臭気等の発生の抑制等、周辺環境に与える影響に対するハード面での具体的な対策が示されている。
- ・高効率機器の採用や独自技術の活用による光熱水費やライフサイクルコスト、CO2 排出量の低減について、定量的な検討がなされている。
- ・BIM など ICT 技術の活用等、施工時の品質管理について具体的な提案がなされている。

<東洋食品グループ>

- ・構内への車両出入口を分けて設け、構内通路を一方通行とするなど、日常的な車両の安全に配慮した計画がされている。
- ・配送口と回収口が明確に区分されるなど、確実な衛生管理が可能な内部計画の提案がなされている。
- ・工事期間中における周辺住民や作業所内の安全対策について具体的な提案がなされている。

(3) 開業準備に関する提案

<シダックス大新東ヒューマンサービスグループ>

- ・通常の調理リハーサルに加え、食物アレルギー対応食調理のリハーサルも３回実施するなど、安全・安心な学校給食の提供に資する提案がなされている。

<東洋食品グループ>

- ・新規採用の調理員等に対し代表企業受託の給食センターで調理業務に従事させるなど、短い開業準備期間で効率的に人材を育成するための方策が提案されている。

(4) 維持管理に関する提案

<シダックス大新東ヒューマンサービスグループ>

- ・DX を活用した機械警備システムの導入等、ICT 技術の積極的な活用による効率的な維持管理業務の実施の提案がなされている。

<東洋食品グループ>

- ・運営企業が蓄積しているエネルギー使用量データに基づくベンチマーク設定や、PDCA サイクルの活用など、省エネルギー・環境負荷低減のための具体的な考え方が示されている。

(5) 運営に関する提案

<シダックス大新東ヒューマンサービスグループ>

- ・予備車両を本件施設内に確保する等、確実に配送・回収を実施するための具体的な提案が多くなされている。
- ・VR 動画やゴーグルなど IT 機器を活用したプログラムの提供等、食育推進のための具体的な方策の提案がなされている。
- ・近隣施設に対するヒアリングや、利用時間帯や危険箇所等の事前調査を行うなど、安全性に十分配慮した運営についての提案がなされている。

<東洋食品グループ>

- ・本件施設と類似の学校給食センターでの統括経験がある責任者を異動配置するなど、本件施設の特徴を踏まえた運営担当者の配置体制について提案時点で詳細な検討がなされている。
- ・従来の HACCP 管理に品質マネジメントシステムを組み合わせた衛生管理を行うなど、安全衛生の実現のためのモニタリング方法等について優れた提案がなされている。
- ・独自の交通量調査から、朝の通勤・通学時間帯を避けた配送時間を設定するなど、近隣及び周辺施設の交通への影響を考慮した提案がなされている。

(6) その他に関する提案

<シダックス大新東ヒューマンサービスグループ>

- ・市民や経験者の優先雇用など、必要な人材の地元雇用が重視されているほか、人材育成に関する具体的な考え方が示されている。
- ・市の食育発信に資する付帯事業への積極的な取組みが提案されている。

<東洋食品グループ>

- ・地元雇用について具体的な数値目標が掲げられているほか、現センター職員の再雇用など、市民の一層の活用が期待される提案がなされている。
- ・地域のマラソン大会への協力やボランティア活動への参加など、地域と本件施設との共生に資する提案がなされている。

3.4. 総評

今回のプロポーザルに対し、2 グループから応募があった。提出のあった提案書は、本事業の内容を十分に理解し、これまでの各企業の実績を基に創意工夫が盛り込まれており、市の要求水準を上回る提案内容が示されていた。

シダックス大新東ヒューマンサービスグループの提案としては、地球環境・ライフサイクルコストへの配慮に係る定量的な検討に基づく提案、周辺環境への配慮に係るハード・ソフト両面における提案、付帯事業に対する積極的な取組姿勢などが特に評価された。

東洋食品グループの提案としては、多面的なリスク管理体制構築の提案や、安全衛生に資する高度なモニタリング方法の提案など、豊富な実績に基づき、評価項目全般に対する詳細かつ具体的な提案がされている点が特に評価された。

これらの提案に対し選定審査会は、事業者選定基準に基づき、厳正かつ公正に審査を行い、株式会社東洋食品を代表企業とする東洋食品グループを最優秀提案者として選定した。

今後、市と東洋食品グループは各種契約を締結し、長期間にわたる事業を実施することとなる。その際に、市と東洋食品グループは、本事業が、安全安心で魅力ある学校給食の実現に向けて極めて重要な役割を担うものであることを再認識し、官民パートナーシップの精神に基づいた協議を行い、本事業の円滑な推進に努めていただきたい。

なお、最優秀提案者として選定された東洋食品グループが、市と各種契約を締結し、本事業をより良いものとするため、以下の項目について十分に配慮して整備・運営いただけるよう選定審査会として要望する。

- ・事業全体のマネジメントを行う部門と、実際の各種業務に携わる部門との間で密接にコミュニケーションをとることの可能な体制を構築すること。
- ・光熱水費・ライフサイクルコストやCO2排出量の削減について、定量的な観点から計画を深化するとともに、計画の実行性を担保するためのモニタリングを行うこと。
- ・配送・回収において、効率性を担保するとともに、特に学校敷地内における安全確保に努めること。
- ・障がい者雇用に係る法定雇用率の達成に努めるとともに、ハラスメントの未然防止や気軽に相談のできる方策についてより積極的な検討を行うこと。